

## 【施設状況】

グループ名称	篠ノ井中央公園、茶臼山自然植物園、茶臼山公園（植物園口駐車場）										
指定管理者名	一般財団法人ながの緑育協会					法人番号	9100005011552				
所管課	主	202500	公園緑地課	副							
構成施設	2836	篠ノ井中央公園									
		茶臼山自然植物園									
	2840	茶臼山公園(植物園口駐車場)									
施設分類	04	レクリエーション型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	01	代行制		
施設概要	・篠ノ井中央公園（管理棟、トイレ棟、遊具等） ・茶臼山自然植物園（上部）（管理棟、四阿、トイレ棟、遊具等） ・茶臼山公園（植物園口駐車場）										
施設設置目的	市民の憩いの場及び交流の拠点として設置。また、篠ノ井中央公園は本市の緑育の拠点、茶臼山自然植物園（上部）は緑育実践の場として位置づけている。										
基本方針等	緑育を通じて、長野の美しい自然を守り、緑を大切にす文化や人を育て、人と人をつながられるように、当該公園が緑育の拠点及び緑育の実践の場として相応しい適切な維持管理を行う。 あわせて指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、市民が足を運びたいと考える施設となり、利用者が世代を超えて交流のできる、地域に根ざした施設となることを目指す。										
主な実施事業	管理棟、トイレ棟、遊具、四阿、駐車場、植栽等の維持管理										

## 【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

## 【評価項目】

## 1 指定管理者の健全性

指定管理者名	一般財団法人ながの緑育協会			指定回数	1 回	
指定期間	平成28年4月1日	～	平成33年3月31日	5年	管理運営開始日	平成28年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)	市が示した基本方針に基づき、適切な管理運営ができています。財政状況や組織体制も特に問題はない。				

		利用区分等	単位	H25	H26	H27	H28	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)								#DIV/0!	3
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
		(特記事項)							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理棟、トイレ棟、四阿、遊具、駐車場、植栽等の施設及び設備の維持管理</li> <li>自動販売機設置・売上</li> </ul>							
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>就業体験の受け入れ (6/8~10日)</li> <li>花と緑に関する活動を行っている各種団体との共催による園芸教室や展示会等の開催 (7/15~17日、サボテンと多肉植物展、10/29~30日、秋の山野草展、3/3~5日、クリスマスローズ展。各展示会で園芸教室も実施)</li> <li>夏休み親子自然観察会 (茶臼山自然植物園) の開催 (8/3日参加)</li> <li>公民館と連携した園芸教室の開催 (主催は公民館、講師派遣3回)</li> <li>緑育実践の場としての公園の活用 (ボランティアの皆さんと園内除草、花壇の手入れなどの緑化活動を年13回開催)</li> </ul>			<未実施事業> ・草花観賞事業 (矢澤校長退任による中止) ・市民参加型イベント事業 (実施に適した秋に各種園芸教室や協カイベントを多く実施したため)				
サービス維持・向上の取組み (広報等)		緑育イベントの開催を管理事務所に提示するなど、来場者に迅速に情報を提供できるようにしている。緑化推進に関係する団体等と共催で展示会や講演会を実施し、施設の有効利用に努めている。							

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	インターネット等	3
		(2) 調査、会議等の内容	公園利用者の要望・意見を把握するため、ながの緑育協会のホームページにアンケートページを設置し、1件の回答を得た。また、月2回開催している全体会議において、スタッフが巡回中や事業を実施するなかで得た要望や意見を共有した。	
利用者からの評価・苦情等	利用者からの評価・苦情等	(3) 調査、会議等の結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園の利用目的・・・草花などの観賞、写真撮影</li> <li>公園で行ってほしいイベントや教室・・・一般対象の花と緑の実践講座</li> <li>公園にあればよいサービス・・・日除け、雨よげが出来る休憩スペース、花、樹木の名前が分かるようにしてほしい。</li> </ul> 全体会議については、スタッフから事業開催時の参加者からの声や巡回中に聞いた市民の声を随時報告してもらっている。	3
		(1) 良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>花や緑が多く、きれいに整備されている。</li> <li>ふわふわドームが珍しい (楽しめた)。</li> <li>身近にこんな公園があることを知らなかった。これからも利用したい。</li> </ul>	
		(2) 苦情・改善等の要望事項	(篠ノ井中央公園) ・日除け、雨よげが出来る休憩スペースがほしい。 ・花、樹木の名前が分かるようにしてほしい (教えて欲しい)。 ・緑の相談所を通年開催してほしい。 ・観光客の呼べるような公園にしてほしい。 ・場所がわかりづらい。 (茶臼山自然植物園) ・坂道がきつく上部まで行けない。 ・アスレチックが壊れていて (使用中) 使えない。	
		<<対応措置>>	<ul style="list-style-type: none"> <li>花については、名前を書いたプレートを設置するように対応している</li> <li>緑の相談所については、要望が多かったため、次年度から月1回の開催とする。</li> <li>アスレチックについては大規模修繕を公園緑地課に依頼するとともに、予算の範囲内でできる限り修繕をおこなった。</li> </ul>	

	指定管理者収支（平成28年度）				市の収支				評価	
	年度計画額		収支実績額		平成28年度決算		平成27年度決算（前年度）			
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額		
事業収支 (単位：円)	収入	利用料金		利用料金		歳入	使用料		使用料	
		指定管理料	50,500,000	指定管理料	50,500,000		雑（納付金）		雑（納付金）	
		委託料		委託料			行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
		販売収入等		販売収入等			その他		その他	
		その他収入	1,000	その他収入	469,512					
		計	50,501,000	計	50,969,512		計	0	計	0
	支出	人件費	14,240,000	人件費	13,331,807	歳出	指定管理料	50,500,000	指定管理料	0
		設備管理費	890,000	設備管理費	2,530,812		委託料		委託料	
		備品購入費	1,400,000	備品購入費	4,093,875		需用費		需用費	
		修繕費	500,000	修繕費	833,595		役務費		役務費	
光熱水費		3,600,000	光熱水費	1,919,481	使用料・賃借料			使用料・賃借料		
事業費		27,210,000	事業費	25,204,673	修繕費			修繕費		
事務経費		1,920,000	事務経費	1,769,543	工事請負費			工事請負費		
本社経費			本社経費		備品購入費			備品購入費		
その他		741,000	その他	1,813,248	その他			その他		
	計	50,501,000	計	51,497,034		計	50,500,000	計	0	
自主事業	収入		収入							
	支出		支出							
	自主事業損益	0	自主事業損益	0						
損益		0		-527,522	差引		-50,500,000		0	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成28年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）									25.9%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由										

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 派遣職員1名、正規職員1名（緑育担当）、臨時職員7名（緑育担当3名、指定管理4名）、パート職員1名（指定管理） 計10名（うち市内雇用者10名） 事務局長1名（臨時）、事務局次長1名（派遣）、施設長1名（臨時：指定管理）、緑育担当3名（正規1名、臨時2名）指定管理4名（臨時3名、パート1名）		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/>
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価
<p>地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。</p>	3
<p>協定内容・指定管理者提案</p>	
<p>追加された内容、未実施の内容及びその理由</p> <p>・物品等の調達は直接していないが、展示会など多くの人が集まる日に合わせ、障がい者就労施設の職員が自分たちで育てた花苗などを管理棟の前で販売するなど協力体制を築いている。                  ・地元企業や地元住民自治協議会のイベントに参加することで地域との連携を図っている。                  ・長野県更級農業高校の就業体験として生徒を受け入れている。また、市と共催したながの緑育フェスタへの出店など相互の連携を図っている。</p>	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性 5                  施設の有効活用 4                  利用者評価 3                  事業収支 2                  管理運営全般 1</p> <p>----- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	3	12	
事業収支	3	12	
管理運営全般	3	6	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
合計得点		60	

評価理由	公園の管理運営方針に則し、植栽管理や清掃による美観の維持に努めると共に、公園利用者が安心、安全、快適に過ごせる環境づくりに努めた。また、緑化推進事業によるイベントや各種講演会などの開催により、両公園の利用や促進に努めた。
------	--

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
			<ul style="list-style-type: none"> <li>篠ノ井中央公園の植栽帯の土が悪く、植物の育成に適していないため、抜本的な土壌改良が必要である。</li> <li>茶臼山自然植物園の藤棚、アスレチックの老朽化により集客施設としての今後の活用が懸念される。</li> </ul>

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度以降も「緑育」をキーワードとした特色ある公園運営に努め、利用者がより安全に安心して過ごしていただける質の高い公園管理をしていく。</li> <li>茶臼山自然植物園を会場としたイベントの開催を企画する。</li> </ul>
---------------------	--

## 指定管理者自己評価

C

## (1) 今年度の取組みに対する評価

## ① サービス向上に向けての取組み

## ア 利用案内の充実

協会のホームページを充実させ、公園マップや園内施設、遊具などの利用案内、花の見頃など紹介するページを作成しました。またイベントや講習会の定期発信のほか、スタッフブログによる新鮮でタイムリーな情報提供を実施しています。

## イ 自動販売機設置による飲料の提供

篠ノ井中央公園に1台、茶臼山自然植物園に1台自動販売機を設置して、利用者サービスの向上を図っています。

## ウ アンケートなどによる利用者の要望把握

緑育協会のホームページに公園への要望・意見をいただくアンケートページを設けて、利用者の要望把握やイベント開催時に聞き取りを行い、業務改善に努めています。

## エ 魅力ある植栽の実施

篠ノ井中央公園の園内の花壇や園路沿いには1年草を中心に季節に応じた植栽を行い、来場者楽しんでいただけるように日々の手入れに努めています。また、茶臼山自然植物園の4つの既存ガーデンのメンテナンスを行い、管理の行き届いた維持管理を図っています。

## ② 業務の効率化に対する取組み

## ア セルフモニタリングについて

毎日、園内及び駐車場を巡回、清掃し、作業日報に記録することにより日常的に管理実態を把握しています。また、月に2回、スタッフ全員による全体会議を実施し、課題について話し合うとともに対応方針を検討し、現況の改善を常に図っています。

## イ 経費縮減

園内の管理作業については、乗用草刈機や乗用芝刈り機を導入し、人員の削減に努めるほか業務の効率化を図っています。また、灌水などに使用する水を水道水から地下水に切り替える、自動灌水装置を設置するなど経費縮減に留意しながら維持管理を実施しています。

## ウ 職員の意識・能力の向上

公園管理技術の向上を目指した研修・講習会の受講のほか、自主研修として、安全管理に関する研修や公園の管理運営に係る関連法令等の研修を行い、職員の意識を高め、業務の効率化や危機対応能力の向上を図っています。

## ③ その他

## ア 市民ボランティアとの協働による公園管理

市民ボランティア「ながの緑育マイスタークラブ」の皆さんに篠ノ井中央公園、茶臼山自然植物園における花壇づくりや花苗の定植、除草などの緑化活動に携わっていただき、市民参加による公園づくりを実施しています。

## イ 地元地域や緑や花に関する団体との共催イベントの実施

花や緑に関する団体等と共催で講習会や展示会を開催し、施設の有効利用に努めています。また、公園で実施される地元企業等のイベントに積極的に協力することで交流・連携を図っています。

## (2) 指定管理者業務実施上の課題

## ア 施設の老朽化

茶臼山自然植物園の藤棚、アスレチックが老朽化しており、更新も含めた対策が必要です。特にアスレチックに関しては、市内外から多くの方が楽しみに来場されますが、指定管理者としてわずかでも危険がある場合には使用中止にせざるを得ないため、使用できない遊具が多く、リピーターも望めず、対応に苦慮しています。

## イ 公園利用者のマナー向上

トイレや施設の器物損害など悪質な行為に対しては、警察に通報するとともにパトロールを強化してもらうなどしているが、有効な予防策がないのが現状です。また、禁止されている園内の犬の散歩や危険行為などをどう防止していくか課題です。

## ウ 適切な植栽管理

茶臼山自然植物園は管理エリアも広く、巨木も多いことから、日常的な巡回点検による危険箇所の把握、倒木や枯れ枝の落下事故などを未然に防ぐための大規模な剪定や迅速な撤去等の適切な植栽管理が課題となります。

## (3) 次年度以降の取組み

## ア 知名度の向上

篠ノ井中央公園は新しく整備された公園であるため、地元地域でも知らない人も多く、広報活動やイベントの開催により知名度向上と利用促進を図っていきます。また、再整備により茶臼山自然植物園がきれいに整備され始め、魅力ある植物園に生まれ変わりつつあることなど、隣接する茶臼山動物園や恐竜公園とも連携を取りながら、茶臼山エリアの魅力を発信していきます。

## イ 自主事業の拡大

茶臼山自然植物園を会場としたイベントの開催や緑育センターを利用した講習会など、茶臼山の自然を活かした自主事業を実施します。

## ウ 公園運営管理の充実

スタッフによる公園管理士の資格取得、遊具の安全講習会など運営管理の関する研修や講習会に積極的に参加し、ノウハウを蓄積するとともに質の高い公園運営管理に努めていきます。

## エ 地域緑化への貢献

公園施設（温室ハウス）などを活用した花苗の育成や市場価格より安く設定した価格での花苗の頒布、地域公民館への講師派遣や緑化活動参加など、「緑育」をキーワードとした特色ある公園運営に努め、地域緑化に貢献していきます。

## 【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る